

西宮市の決算の概要
～令和2年度版～

令和3年8月

西宮市 財務局 財務総括室 財政課

目次

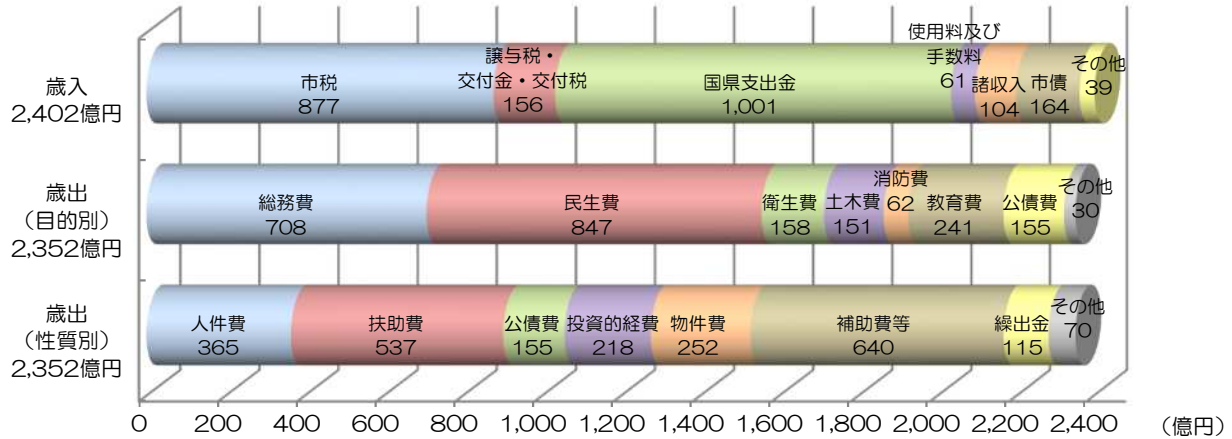
1.	決算の概要	1
2.	歳入の状況	2
3.	市税の状況	3
4.	歳出の状況	
	(1) 目的別	4
	(2) 性質別	5
5.	特別会計の決算状況	6
6.	西宮市の貯金（基金）	6
7.	西宮市の借金（市債）	
	(1) 市債の元金返済額と借入額の推移	7
	(2) 市債現在高の推移	7
8.	投資的事業の状況	8
9.	目的税等の使途	
	(1) 目的税	9
	(2) 森林環境譲与税交付金の使途	11
	(3) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分	12
10.	主な財政指標	
	(1) 経常収支比率	13
	(2) 財政力指数	14
11.	市民一人あたりの決算額	
	(1) 歳入	15
	(2) 歳出	15
	(3) 市債残高および基金残高	15

1. 決算の概要

Point!

R2年度は、特別定額給付金事業などの新型コロナウイルス感染症関連経費の増により、例年に比べ決算規模が大きくなっています。
 収支の結果としては、歳入から歳出を差し引いた金額が50億3千万円で、そこから翌年度に繰り越した事業の財源（3億円）を引いた47億3千万円が実質的な剰余金となります。

令和2年度一般会計決算状況



令和2年度は、「第5次西宮市総合計画」の2年目となるため、計画事業の取り組みをさらに深めることを意識した予算編成としていました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、優先すべき事業について再検討を行う必要が生じたため、着手することで多額の財政負担が生じる事業については一定の制限をかけるなど、慎重な執行を行いました。

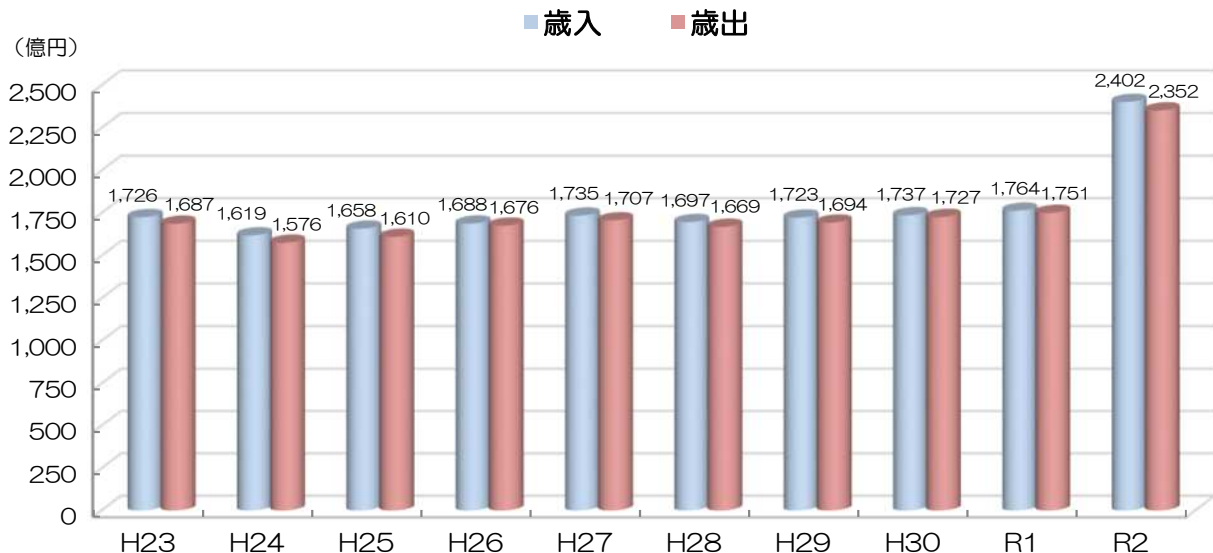
一般会計の決算額については、国が講じた特別定額給付金事業や、地方創生臨時交付金を活用した事業など新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増により、歳入・歳出ともに前年度決算額を大きく上回っています。

歳入では、根幹となる市税収入が、新型コロナウイルス感染症の影響などによる法人市民税の落ち込みがあったものの、個人市民税は増となったことから、総額では前年度に比べ増となりました。また、特別定額給付金事業の実施などにより国庫支出金が大幅に増となっています。

歳出では、同じく特別定額給付金事業の実施により総務費が増となったほか、認定こども園給付等事業経費の増や、障害者介護給付等事業経費の増などによる民生費の増により、前年度に比べ増額となっています。

なお、当年度は、市の貯金である財政基金を取り崩すことなく実質収支の黒字を確保しています。実質収支の1/2（23億7千万円）は再度財政基金に積み立て、残りの1/2は令和3年度の財源として活用します。

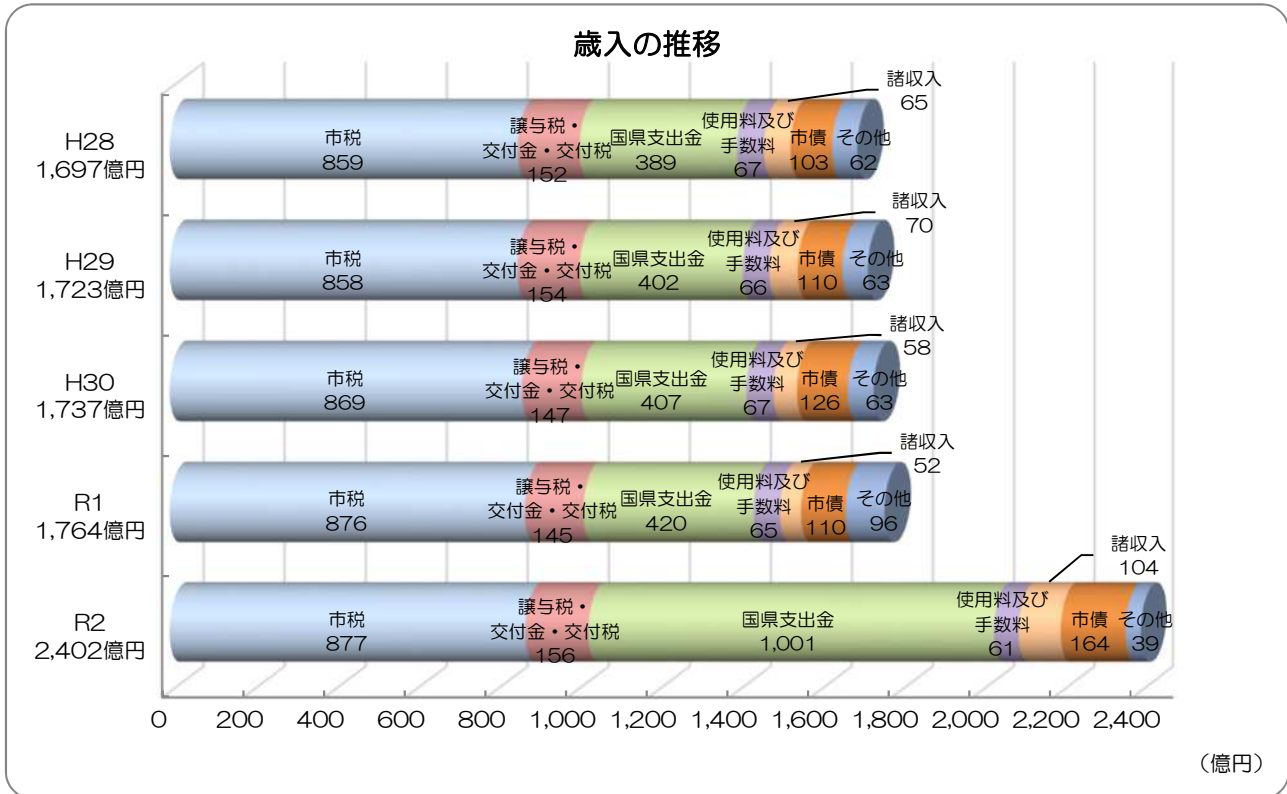
過去10年間の一般会計における歳入歳出決算額の推移は以下のとおりです。



2. 歳入の状況

Point!

国庫支出金が、特別定額給付金事業などの新型コロナウイルス感染症関連経費により大幅な増となっています。また、アサヒビール西宮工場跡地購入にかかる土地開発公社貸付金の返還により、諸収入が増となりました。



＜市 税＞ 新型コロナウイルス感染症の影響などによる法人市民税の落ち込みがあったものの、個人市民税は増収となったことなどから、総額では前年度に比べ1千万円の増額となりました。

＜譲与税・交付金・交付税＞

地方特例交付金において、子ども・子育て支援臨時交付金が減となったものの、令和元年10月に施行された消費税率引き上げの影響が通年化したことにより、地方消費税交付金が増となったため、総額では前年度に比べ1億5千万円の増額となっています。

＜国県支出金＞

特別定額給付金事業などの新型コロナウイルス感染症関連経費により、前年度に比べ5億8千万円の増額となりました。

＜市 債＞ 第二庁舎の整備や、春風小学校、西宮養護学校の改築工事の増などにより、前年度に比べ5億3千万円の増額となりました。

＜その他＞ 財政基金の取崩しを行わなかったことにより、前年度に比べ5億7千万円の減額となりました。

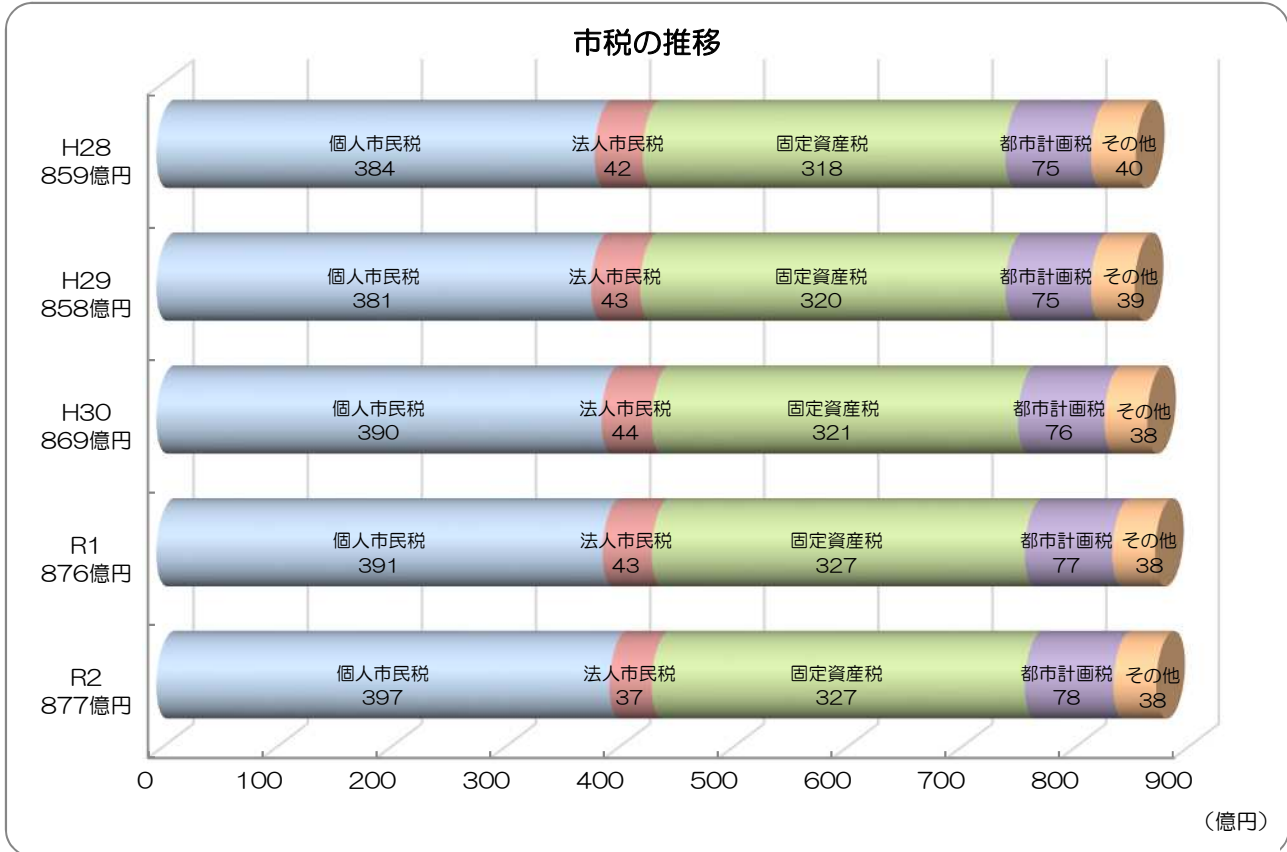
～用語解説～

譲与税・交付金・交付税・・・国税（自動車重量税など）や県税（地方消費税など）として収入されたもののうち、市に一定割合が配分される収入や地方交付税などのことです。

3. 市税の状況

Point!

法人市民税は主に卸売業、小売業の収益減により大幅に減となりましたが、個人市民税は増となったため、市税全体では増となりました。



※その他は市たばこ税・事業所税・軽自動車税・入湯税・特別土地保有税

<個人市民税>

給与所得等の増により、前年度に比べ5億9千万円の増額となりました。

<法人市民税>

新型コロナウイルス感染症の影響により、主に卸売業、小売業の収益が減となったことなどから、前年度に比べ約5億7千万円の減額となりました。

<固定資産税及び都市計画税>

家屋の新增築により、都市計画税は前年度に比べ4千万円の増額となりましたが、固定資産税は、償却資産における設備投資等の減などにより、前年度に比べ2千万円の減額となっています。

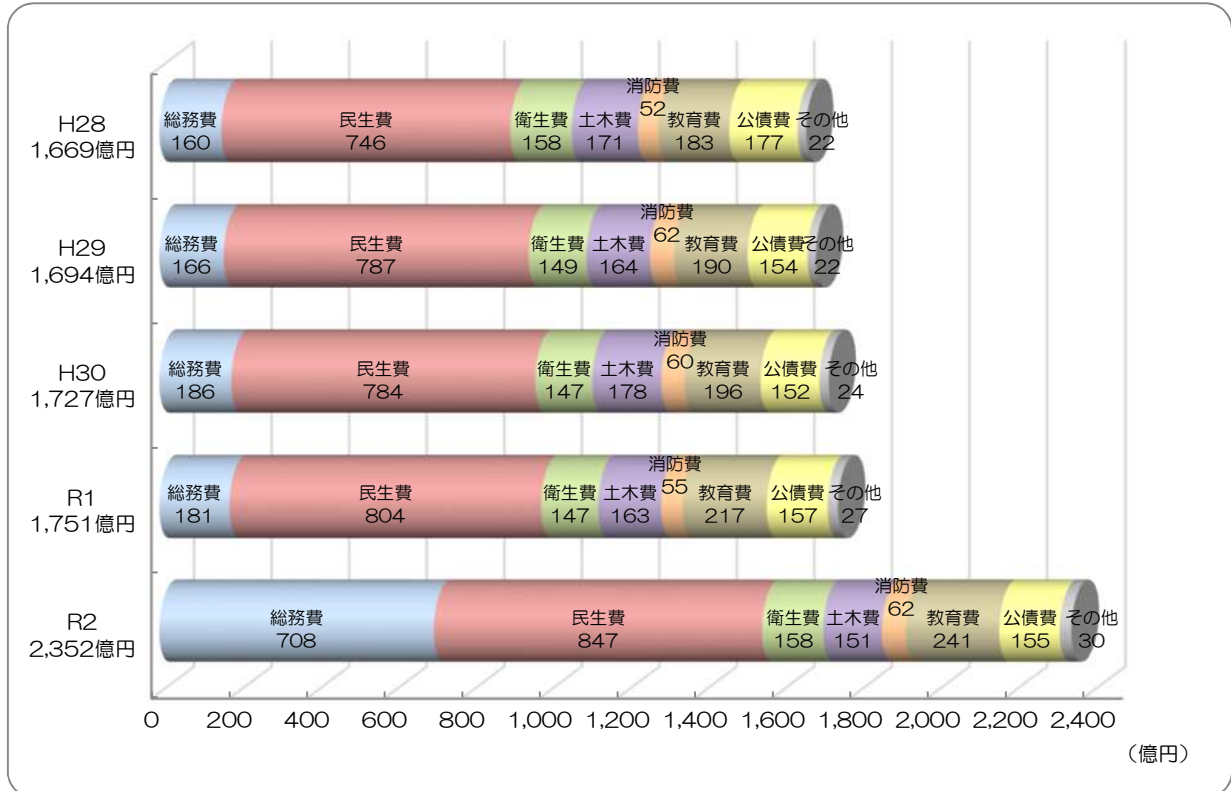
<その他> 市たばこ税については、売渡し本数の減により、前年度に比べ5千万円の減額となりました。

4. 歳出の状況

(1) 目的別

Point!

歳出の状況を目的別に見てみると、社会保障関係経費の増大により民生費が年々増加傾向にあります。また、R2年度は特別定額給付金事業の実施により、総務費が大幅に増となっています。



＜総務費＞ 特別定額給付金事業の実施や、第二庁舎（危機管理センター）新築工事の進捗による庁舎整備費の増により、前年度に比べ527億1千万円の増額となっています。

＜民生費＞ 幼児教育・保育の無償化の通年での実施などによる児童保育費の増や、障害者介護給付等事業経費の増などにより前年度に比べ42億6千万円の増額となっています。

＜衛生費＞ 病院事業会計への補助金が減となりましたが、水道事業会計への補助金や結核感染症予防対策事業経費の増などにより、前年度に比べ11億3千万円の増額となっています。

＜土木費＞ 下水道事業会計への補助金の減や、街路事業費の減などにより、前年度に比べ12億1千万円の減額となっています。

＜消防費＞ 西宮消防署の建替えなどによる消防施設整備費の増により、前年度に比べ6億9千万円の増額となっています。

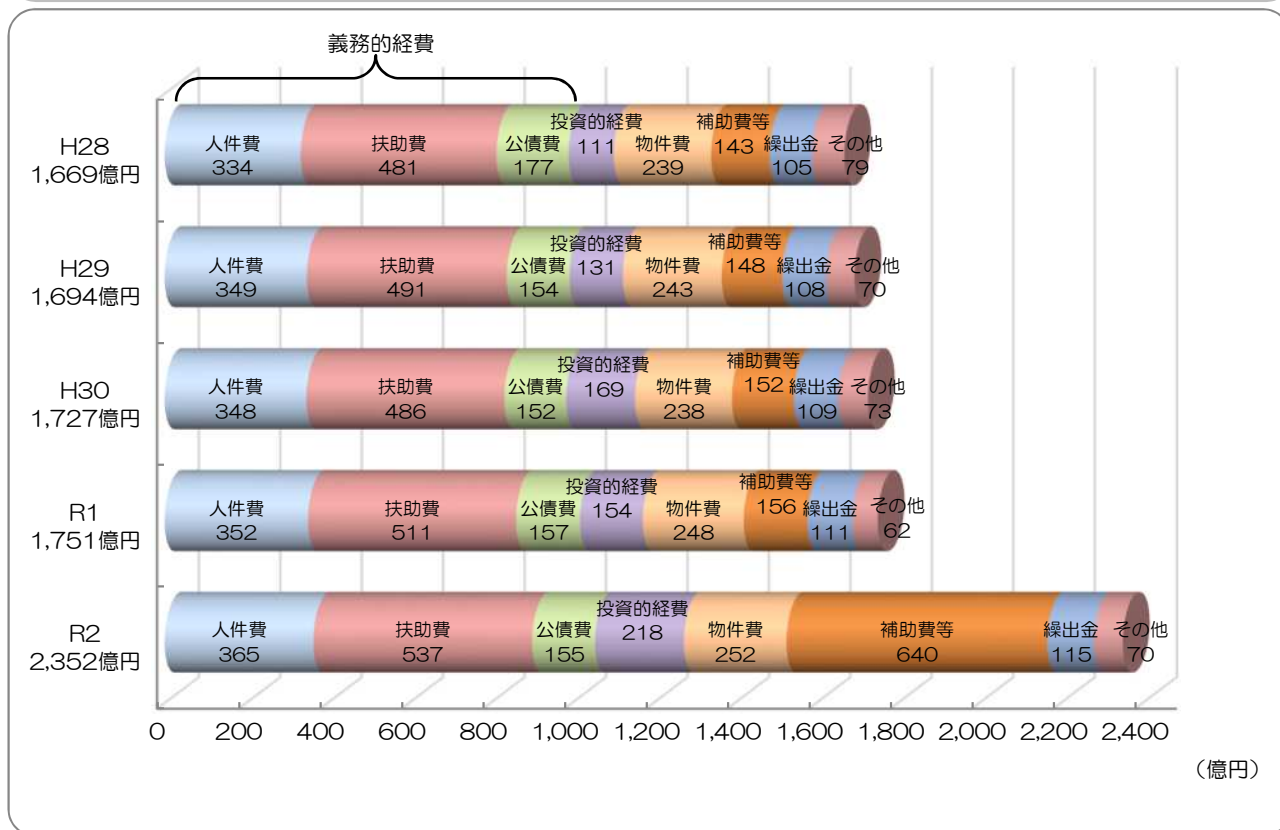
＜教育費＞ 春風小学校や西宮養護学校の改築工事の進捗による学校整備費の増により、前年度に比べ23億3千万円の増額となっています。

＜公債費＞ 借入利率の低下や前年度末市債残高の減少に伴う長期債等利子の減により、前年度に比べ2億円の減額となっています。

(2) 性質別

Point!

歳出の状況を性質別に見てみると、義務的経費の中では、扶助費が幼児教育・保育の無償化の通年実施などにより増となっています。また、特別定額給付金事業の実施などにより、補助費等が大きく増となっています。



＜人件費＞ 会計年度任用職員制度の導入に伴い臨時職員賃金等が物件費から振替となったことや国勢調査の実施により、前年度に比べ13億4千万円の増額となっています。

＜扶助費＞ 幼児教育・保育の無償化の通年実施などによる保育施設等への給付費の増や、障害者介護給付費等の増により、前年度に比べ26億2千万円の増額となっています。

＜公債費＞ 借入利率の低下や前年度末市債残高の減少に伴う長期債等利子の減により、前年度に比べ2億円の減額となっています。

＜投資的経費＞

香榎園小学校教育環境整備事業などが減となりましたが、第二庁舎等整備事業や春風小学校教育環境整備事業などの増により、全体で64億8千万円の増額となっています。

＜物件費＞ 会計年度任用職員制度の導入により臨時職員賃金等が人件費へ振替となった一方、地域商業活性化対策事業経費などの増により、前年度に比べ3億5千万円の増額となっています。

＜補助費等＞

特別定額給付金事業の実施などにより、前年度に比べ484億円の増額となっています。

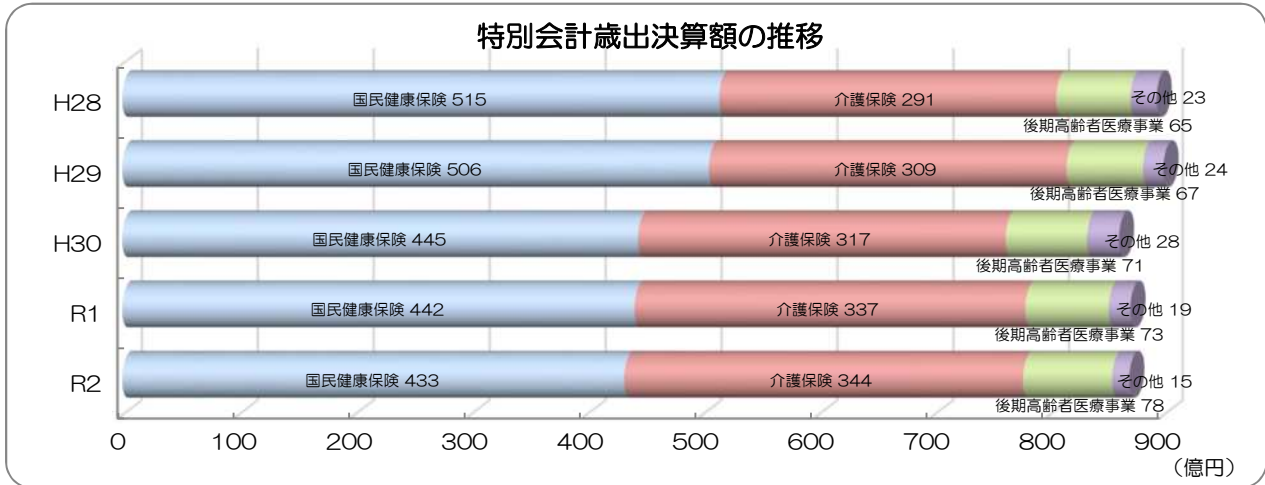
～用語解説～

義務的経費・・・人件費、扶助費、公債費からなるもので、毎年度の支出が義務付けられており、容易に減らすことができない経費のことです。

※なお、義務的経費の割合が大きくなると、新しいサービスや公共施設の建設などが難しくなります。

5. 特別会計の決算状況

国民健康保険特別会計は、被保険者数の減及び新型コロナウイルス感染症の影響による受診者数の減などにより、前年度に比べ9億2千万円（2.1％）の減となりました。一方で、介護保険特別会計は、1件当たりの介護サービス利用単価の増加に伴う保険給付費の増などにより、前年度に比べ6億5千万円（1.9％）の増となり、また後期高齢者医療事業特別会計は、被保険者数の増加などにより前年度に比べ4億8千万円（6.5％）の増となりました。なお、特別会計全体では1億9千万円（0.2％）の減となっています。

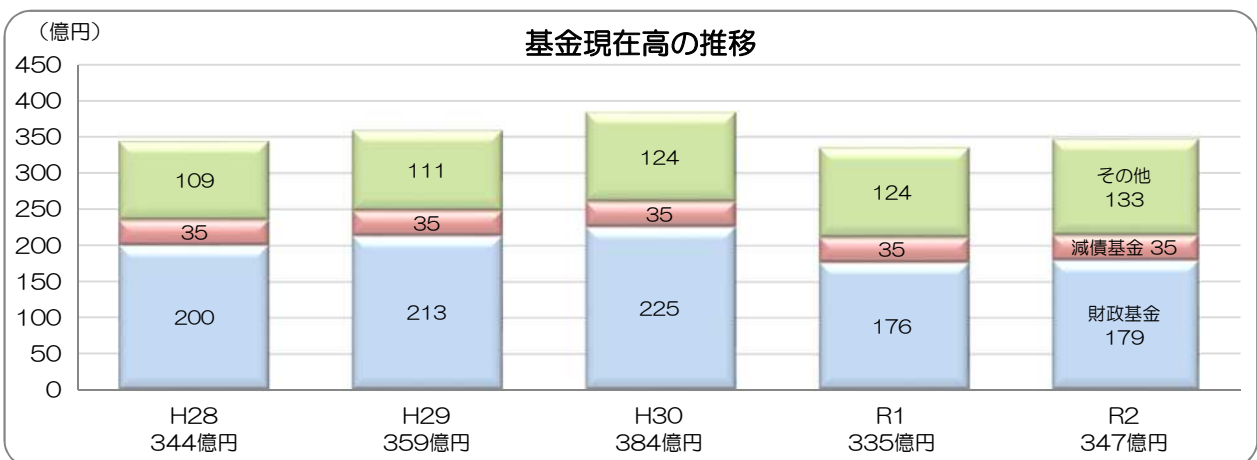


～用語解説～

特別会計・・・特定の目的のための会計で保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。西宮市には9の特別会計があります。（R2末時点）

6. 西宮市の貯金（基金）

市の貯金は「基金」と呼ばれています。R2年度末の基金現在高は347億円で、前年度に比べ12億円の増となっています。これは、公共施設保全積立基金に6億円、都市計画事業基金に4億1千万円を積み立てたことなどによるものです。



※一般会計、特別会計の基金合計額。

～用語解説～

財政基金・・・災害復旧など、財源不足が生じたときに取り崩すことを目的として設置している基金です。

減債基金・・・市債の償還（返済）等に必要な財源を確保するために設置している基金です。

7. 西宮市の借金（市債）

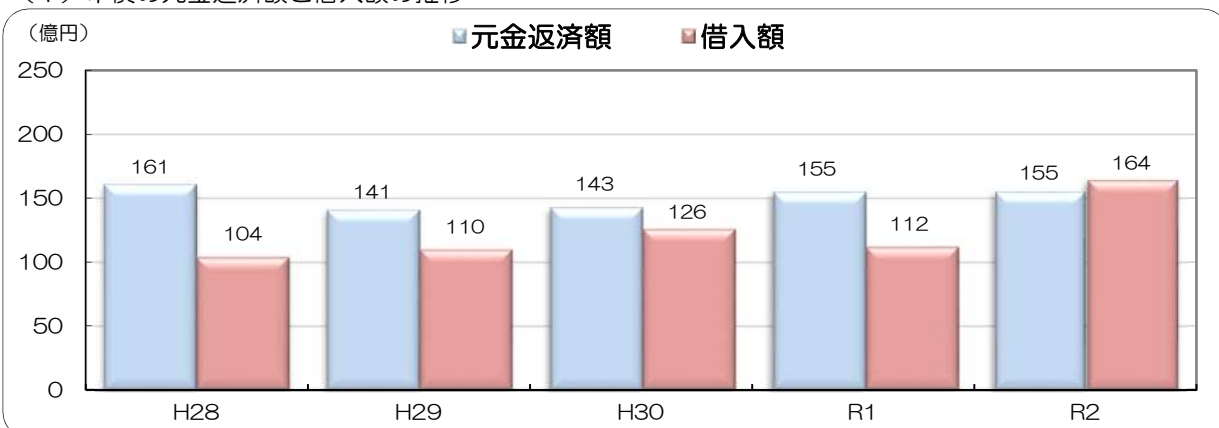
Point!

借入金の元金返済以上に借金をしないことで、市債残高を減らし、財政健全化を図っています。R2年度は投資的
事業の増に伴い、元金返済額より借入額が上回ることでなりました。

学校や道路などの公共施設の整備などで金融機関などから長期的に借り入れる市の借金のことを市債とい
います。

公共施設を整備するには一時的に多額の費用が必要になります。建設した年度だけでなく、その後長期間
にわたりその施設を利用することから、市債を活用して建設費を複数年かけて返済していくことで、現在の
市民と将来の市民の「世代間負担の公平」を図っています。

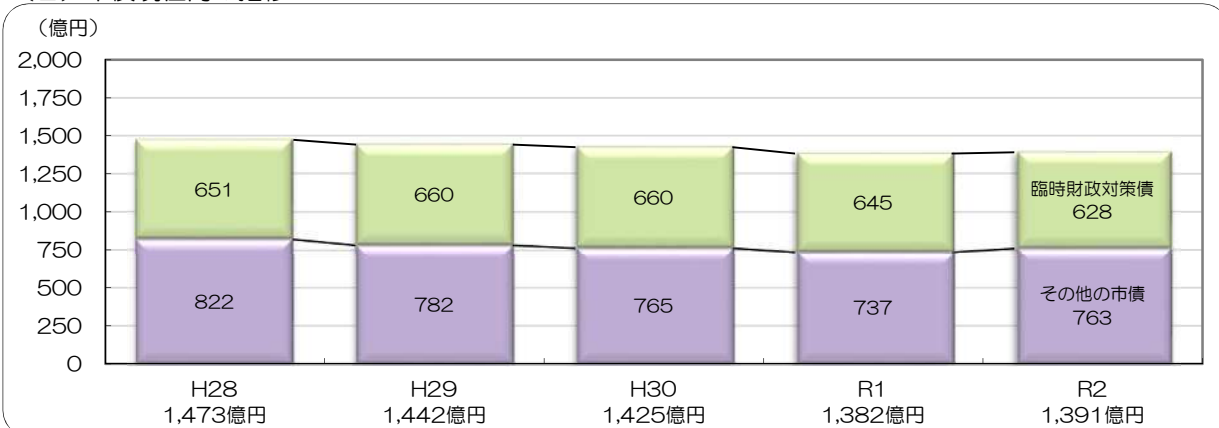
（1）市債の元金返済額と借入額の推移



※一般会計、特別会計の合計額で、元金返済額には災害援護資金貸付金償還免除額を含む。

R2年度の元金返済額は155億4千万円で、前年度に比べ3千万円の増となっています。震災復興事業
のために借り入れた借金のうち、一部の返済が前年度で終了したことによる減はありましたが、臨時財政対
策債や教育債の返済額の増などにより、全体では増となりました。

（2）市債現在高の推移



※一般会計、特別会計の合計額。

R2年度末での市債現在高は1,390億8千万円となっています。前年度末に比べ主に震災復興に伴う
災害公営住宅等建設に係る市債や臨時財政対策債などの返済が進みましたが、第二庁舎（危機管理セン
ター）建設工事の進捗により総務債が34億7千万円の増、香櫨園小学校や春風小学校、西宮養護学校の改
築工事の進捗により教育債が31億円の増となり、全体では9億円の増となりました。

～用語解説～

臨時財政対策債・・・国から地方公共団体に交付する地方交付税の原資が足りないために、不足分の一部をいっ
たん地方公共団体が借金をして賄う地方債のことです。H13年度から導入され、他の
地方債と違い、建物の建設などに限らず自由に使うことができ、その返済額が翌年度以
降の地方交付税で賄われることとなっています。

8. 投資的事業の状況

投資的事業とは、道路・公園・学校・公営住宅の建設など社会資本の整備や、災害によって被害を受けた施設等を復旧するための事業です。

事業費は一般会計、特別会計あわせて約219億円で、前年度に比べ64億円の増額となっています。

投資的事業の事業費と財源内訳

(単位：千円)

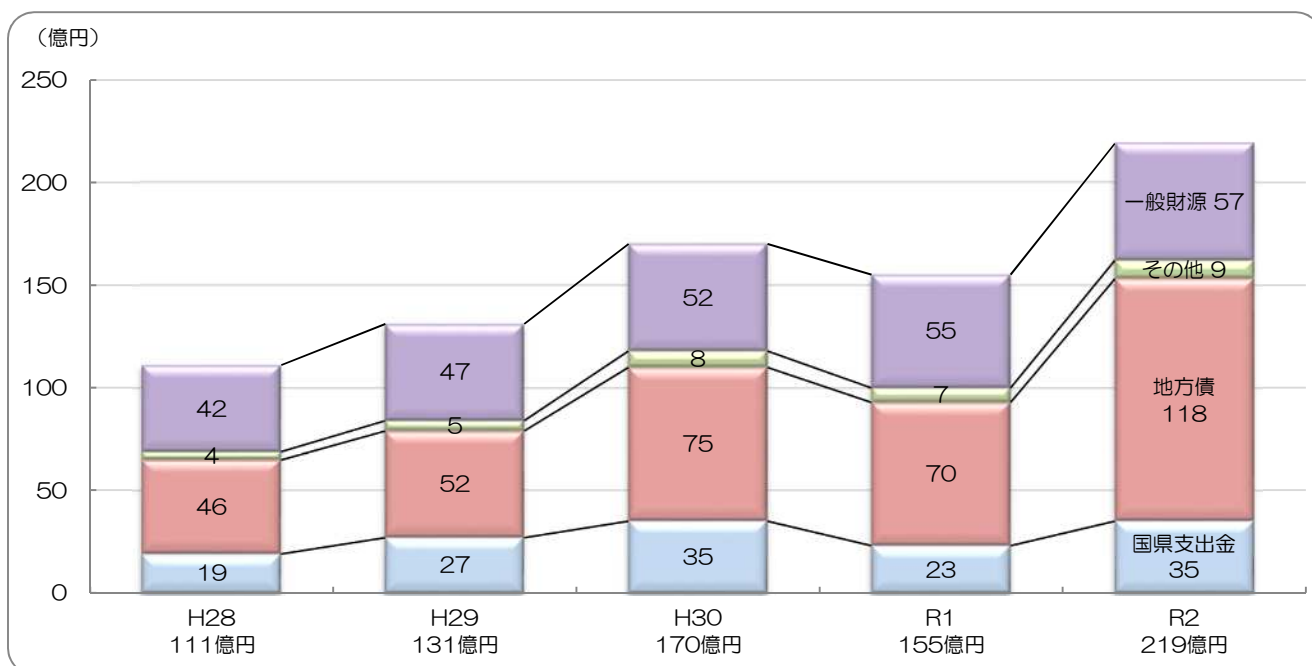
区 分	事 業 費	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
一 般 会 計	21,845,950	3,475,110	11,823,100	886,186	5,661,554
特 別 会 計	33,102	0	27,200	5,868	34
合 計	21,879,052	3,475,110	11,850,300	892,054	5,661,588

主な投資的事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
第二庁舎等整備事業	4,717,979	危機管理体制の強化とあわせ、老朽化や耐震面において喫緊の課題を抱えた庁舎の建替え更新と機能の集約化を同時に実現するため、第二庁舎（危機管理センター）の建設工事を行いました。
学校教育環境整備事業	3,093,584	香榎園小学校では渡り廊下改修工事を行い、春風小学校では令和2年12月に新校舎の引渡しを受け、旧校舎解体工事に着手しました。また、安井小学校では先行設備工事等を行い、瓦木中学校では基本設計実施設計に着手するとともに、給食室改修工事を行いました。
西宮養護学校校舎等改築事業	2,157,028	西宮養護学校では老朽校舎の解消と児童・生徒の状況に適した教育環境を整備するため、校舎改築工事を行いました。
学校施設整備事業	1,625,825	小学校施設では、甲東小学校で大規模改修工事、高木小学校で長寿命化改修工事、段上西小学校で屋上防水工事、34校（西宮浜義務教育学校西校舎を含む）で体育館環境改善工事、上ヶ原小学校でプール改修工事、その他各種改修工事を行いました。中学校施設では、2校で屋上防水工事、20校（西宮浜義務教育学校東校舎を含む）で体育館空調設備設置工事、塩瀬中学校で体育館階段昇降機設置工事、その他各種改修工事を行いました。特別支援学校施設では、西宮養護学校で体育館空調設備改修工事を行いました。高等学校施設では、西宮高等学校でグラウンド改修工事及び部室解体工事、2校で体育館環境改善工事を行いました。幼稚園施設では、生瀬幼稚園の移転に伴い施設整備工事を行いました。

H28年度からR2年度の総事業費及び財源の推移は以下のとおりです。なお、H30年度は、道路照明灯のLED化工事や護岸前出し工事等の道路橋梁新設改良事業などにより増額となりました。R2年度は、第二庁舎（危機管理センター）新築工事や、春風小学校、西宮養護学校の改築工事の進捗などにより増額となりました。



9. 目的税等の用途

(1) 目的税

租税の中で、一定の政策目的を達成するために用途を限定して課税されるものを目的税といいます。西宮市では、都市計画税、入湯税、事業所税の3つの目的税があります。

【都市計画税】

歳入決算額 7,744,473千円

都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり街路事業（都市計画法に基づいた道路を整備する事業）や下水道事業、関連する公債費（借金の返済）などに充てています。

歳入決算額と都市計画税充当額との差額は、都市計画事業基金に積み立てた上で、今後予定される都市計画事業に充当します。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 都市計画税 充当額	
土木費	都市計画総務費	303,748	0	0	0	303,748	303,748
	街路事業費	1,072,132	476,836	362,600	4,056	228,640	228,640
	公園総務費	25,603	0	0	0	25,603	25,603
	公園整備費	554,389	146,933	102,600	0	304,856	304,856
	下水道事業費	2,947,596	0	0	0	2,947,596	2,947,596
公債費	元金	1,597,236	0	0	0	1,597,236	1,597,236
	利子	90,128	0	0	0	90,128	90,128
合計	6,590,832	623,769	465,200	4,056	5,497,807	5,497,807	

【入湯税】

歳入決算額 9,646千円

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備、観光の振興に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり消防施設の整備、観光の振興に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 入湯税 充当額	
衛生費	清掃工場費	252,890	0	0	0	252,890	4,230
商工費	観光費	43,741	3,000	0	0	40,741	682
消防費	消防施設整備費	1,028,870	611	745,300	0	282,959	4,734
合計		1,325,501	3,611	745,300	0	576,590	9,646

【事業所税】

歳入決算額 1,330,122千円

事業所税は、人口、企業が都市部に集中することによって発生する交通問題やごみ処理問題などの解決を図るなど、都市環境の整備に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり教育文化施設、社会福祉施設などの整備に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 事業所税 充当額	
総務費	大学交流センター費	70,044	0	0	0	70,044	34,196
	広報広聴費	83	0	0	0	83	40
	市民文化施設費	149,616	0	18,800	17,974	112,842	55,091
	スポーツ推進費	173,580	6,629	122,600	25,450	18,901	9,228
民生費	老人福祉施設整備費	361,394	85,342	91,900	57,341	126,811	61,910
	児童福祉施設整備費	1,911,569	769,047	805,100	49,993	287,429	140,326
	障害福祉施設整備費	364,826	152,040	172,700	32,841	7,245	3,537
衛生費	保健衛生施設整備費	153,090	0	37,300	0	115,790	56,530
教育費	教育指導費	59,883	19,960	21,800	0	18,123	8,848
	学校整備費	7,074,474	952,700	4,236,700	331,296	1,553,778	758,570
	幼稚園整備費	9,938	0	0	0	9,938	4,852
	社会教育総務費	6,448	1,973	2,000	0	2,475	1,208
	公民館費	169,550	2,185	99,300	42,107	25,958	12,673
	図書館費	191,999	0	5,400	5,722	180,877	88,306
	青少年教育施設費	10,926	525	0	0	10,401	5,078
	給食費	47,567	0	0	0	47,567	23,223
小計	10,754,987	1,990,401	5,613,600	562,724	2,588,262	1,263,616	
徴税費	66,506	0	0	0	66,506	66,506	
合計	10,821,493	1,990,401	5,613,600	562,724	2,654,768	1,330,122	

(2) 森林環境譲与税交付金の使途

R1年度より創設された森林環境譲与税交付金は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てることとされています。R2年度は、春風小学校教育環境整備事業において木材を利用し、移動式児童用ロッカー等を整備したほか、次年度以降に実施予定の住宅隣接地周辺の森林整備等に充てるため、森林環境譲与税基金へ積立てを行いました。

森林環境譲与税交付金 歳入決算額 40,006千円

(単位：千円)

事業区分	事業名	決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 森林環境譲 与税交付金
木造公共建築物の整備等	春風小学校教育環境整備事業	53,801	0	0	18,827	34,974	34,974
基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税基金積立金	5,032	0	0	0	5,032	5,032
合 計		58,833	0	0	18,827	40,006	40,006

(3) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分

H26年4月から引き上げられた地方消費税の増収分は、社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）その他社会保障施策に要する経費に充当することとされています。

地方消費税交付金 歳入決算額 9,444,886千円
 (うち消費税率の引上げによる増収分(社会保障財源化分) 5,268,605千円)

社会保障施策とは

- ①社会福祉・・・生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など
- ②社会保険・・・国民健康保険、介護保険、年金など
- ③保健衛生・・・医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策などのことをいいます。

西宮市では以下のとおり充当しています。

(単位：千円)

区分	予算科目	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	その他	一般財源	うち 引上げ分の 地方消費税 交付金	
社会福祉	民生費	児童福祉総務費	76,660	21,842	1,090	53,728	595
		保育所費	2,042,931	25,791	143,484	1,873,656	119,955
		児童保育費	12,133,818	8,320,445	392,080	3,421,293	666,273
		子育て総合センター費	102,434	24,042	1,572	76,820	7,162
		児童育成費	1,914,666	724,820	265,727	924,119	207,971
		障害援護費	12,035,382	9,060,191	2,156	2,973,035	789,439
		生活保護扶助費	13,678,622	10,493,168	176,189	3,009,265	805,903
	教育費	幼稚園費	29,992	2,788	349	26,855	2,027
	小計	42,014,505	28,673,087	982,647	12,358,771	2,599,325	
社会保険	民生費	国民健康保険事業費	4,621,454	1,884,277	0	2,737,177	555,871
		介護保険事業費	5,214,901	316,504	1,485	4,896,912	1,137,696
		後期高齢者医療事業費	1,450,414	770,408	0	680,006	68,774
	小計	11,286,769	2,971,189	1,485	8,314,095	1,762,341	
保健衛生	民生費	医療福祉費	2,350,017	625,939	176,906	1,547,172	352,464
	衛生費	保健所費	171,654	85,269	20	86,365	20,204
		保健予防費	2,571,261	354,033	216,636	2,000,592	534,271
	小計	5,092,932	1,065,241	393,562	3,634,129	906,939	
合計		58,394,206	32,709,517	1,377,694	24,306,995	5,268,605	

10. 主な財政指標

(1) 経常収支比率

Point!

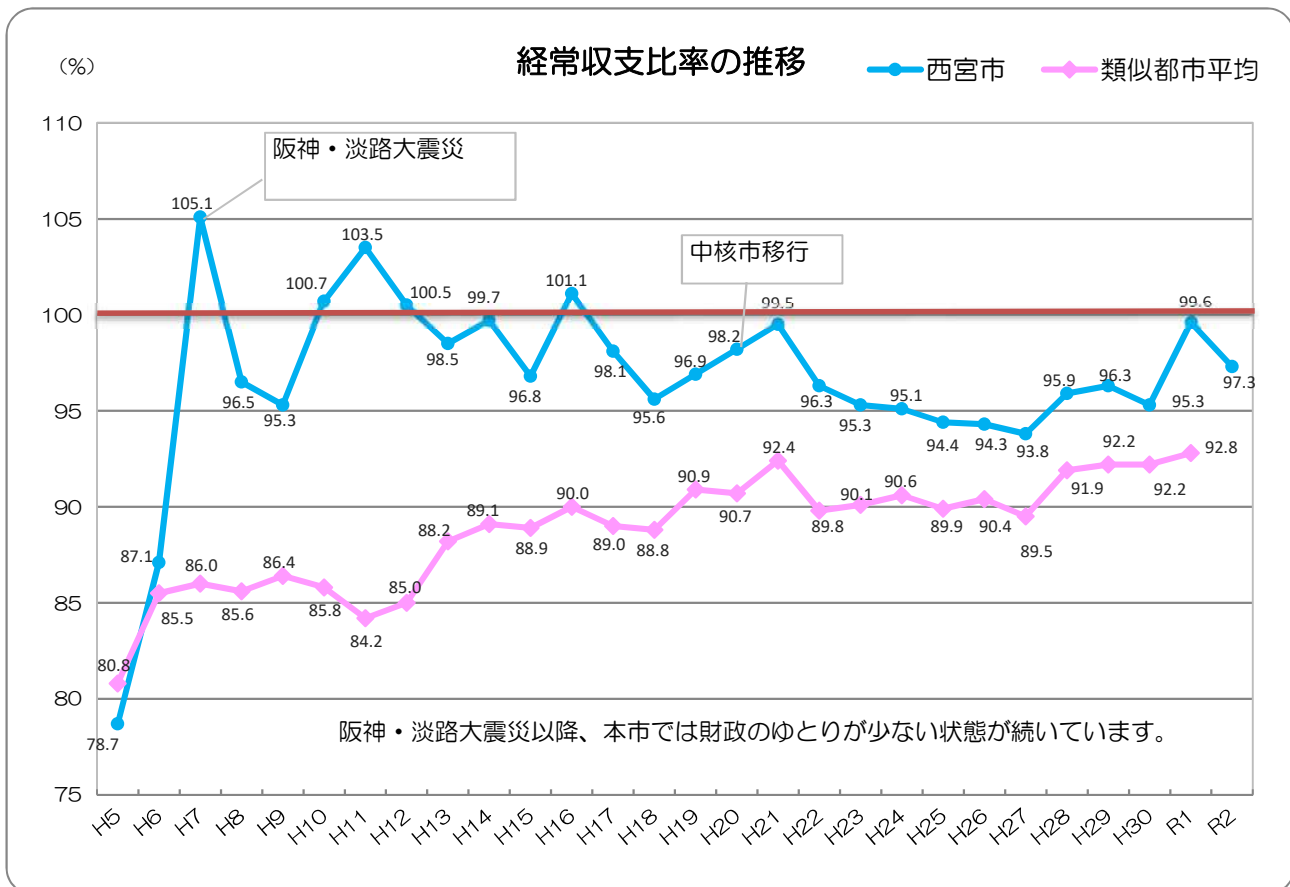
R2年度は97.3%で、前年度(99.6%)と比べて2.3ポイント改善しています。しかしながら、依然として類似都市平均より高い数値が続いています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、市税収入等の経常一般財源が、どれだけ充当されたかを示す比率です。数値が低いほど財政にゆとりがあると言えます。

これを家計に例えると、給料に占める食費やローン返済などの使い道の決まった支払いの割合で、比率が低ければ、旅行などの自由に使えるお金が多くなり、家計にゆとりがあるというものです。この比率が100%を超えると、給料だけではそうした決まった支払いができず、貯金の取り崩しや借金などに頼らなければ家計が成り立たない状態になります。

西宮市では、R2年度は97.3%で、前年度と比べて2.3ポイント改善しています。これは歳入において地方消費税交付金が消費税率引き上げの影響の通年化により増となり、歳出においても扶助費や物件費などの経常的な経費に要する一般財源が減額となったことなどによるものです。

類似都市と比較すると、歳出総額に占める義務的経費の割合が高くなっており、弾力性に欠けた財政構造になっています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

(2) 財政力指数

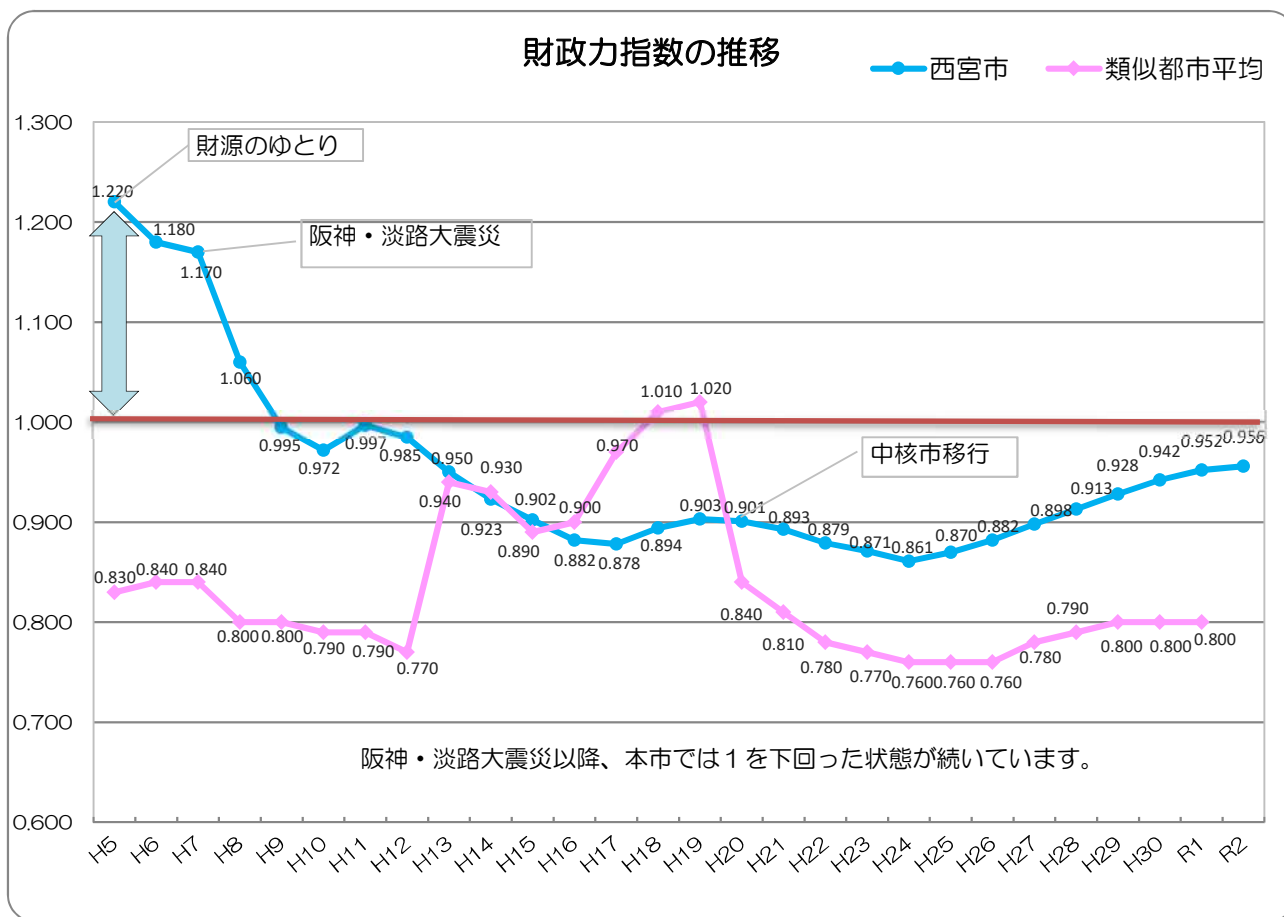
Point!

R2年度は0.956で、前年度(0.952)と比較すると0.004ポイント改善しています。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を同じ尺度で測るための指数で、普通交付税上の標準的な状態において徴収が見込まれる税収入(基準財政収入額)を標準的な行政を行った場合の財政需要(基準財政需要額)で除して得た数値の過去3年間の平均値をいいます。数値が大きいほど財政力が強いことを表しており、一般的に税収等が豊かで普通交付税の交付を受けない不交付団体は、この指数が1を超えることになり、財源にゆとりがあるということになります。

西宮市では、R2年度は0.956で、前年度と比較すると0.004ポイント改善しています。

阪神・淡路大震災以降、数値が低下しましたが、類似都市と比較すると高い数値となっており、これは西宮市の財政基盤が比較的強いことを示しています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

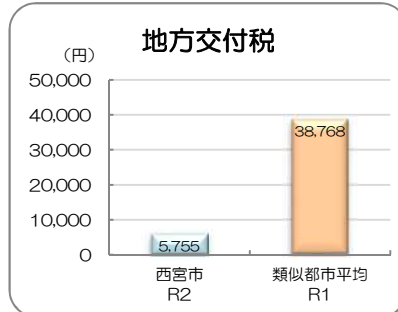
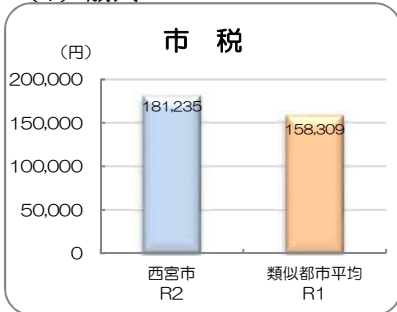
1 1. 市民一人あたりの決算額

類似都市との比較を行う為、普通会計の数値を用いています。

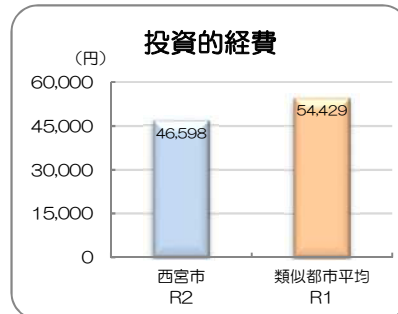
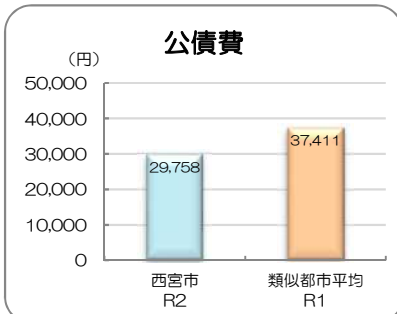
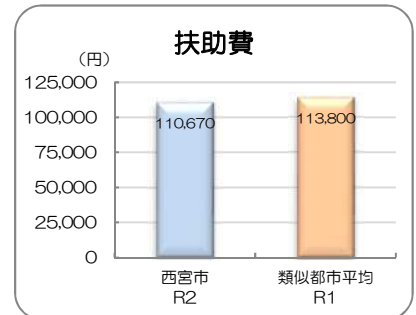
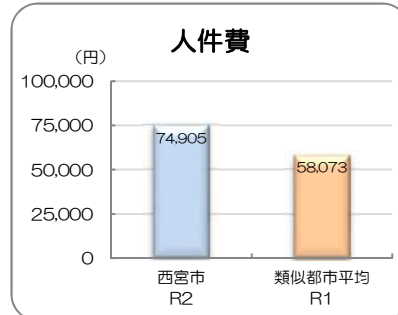
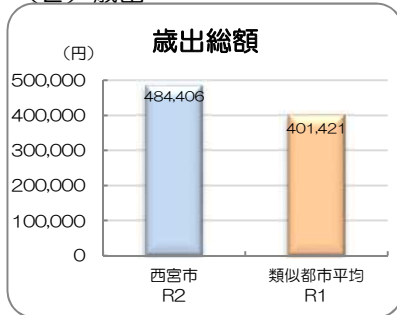
類似都市平均はR1年度財政状況類似団体比較カードのデータに基づいています。

西宮市（R2）の数値は住民基本台帳に基づく人口483,641人（R3年3月31日現在）より算定しています。

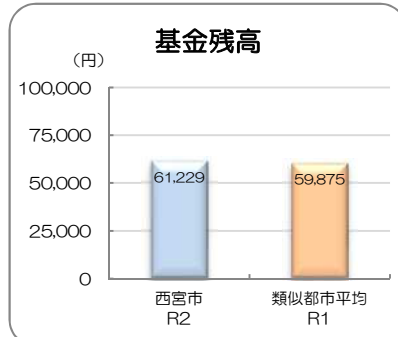
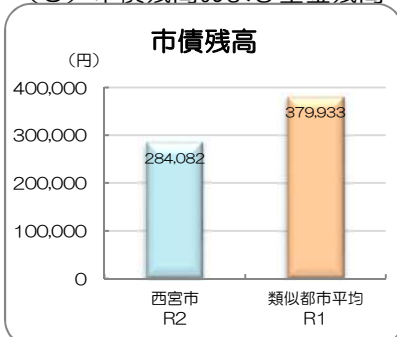
(1) 歳入



(2) 歳出



(3) 市債残高および基金残高



～用語解説～

普通会計・・・地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なり、団体間の財政比較が難しいため、地方財政の統計上、統一的に用いられる会計区分のことです。西宮市では、一般会計のほか中小企業勤労者福祉共済事業、公共用地買収事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計を含み、会計間の重複額等を控除して一つの会計にまとめたものです。